

「オフピーク通勤」してみませんか?

これから仕事だ!というのに朝の満員電車に揺られ、 職場に到着時にはすでに疲弊している...

かといって、朝早く行くのは眠い 遅刻は避けたいが、時間ギリギリまで家でリラックスしたい 仕方なくピークタイムに乗るしか...



「働く大人」であれば誰しも1度や2度、このような経験をしたことがあるはず。 近年では「オフピーク通勤」が推奨されているが、朝の満員電車通勤は未だ続いている

要因の1つに、習慣化された個人のライフスタイルを変えてまでオフピークタイムに 通勤したいという付加価値やモチベーションがないのでは、と考えた そこで、特に都会の「働く大人」向けに、憂鬱な朝の通勤を有意義な時間に変える 「FOREST TRAIN」をデザイン

あえてオフピークタイムで通勤する、という新たなライフスタイルを提案し、 忙しく働く大人が幸せになれるひと時を

NOW 人が集中する満員電車通勤

満員電車

(AM 7:30-9:00)

人多すぎる!!

UNHAPPY

**FUTURE** 

オフピーク通勤が当たり前、皆が快適に過ごせる

**FOREST TRAIN** (始発-AM 7:30) (AM 7:30-9:00)

Forest Trainに 乗って始業前に朝活!

(AM 9:00-10:00)

乗って知楽削に知治: 電車でぐっすり寝れるから 早起き余裕

人が減ってラッキー

◇「Forest Train」運行情報◇

・鈍行列車での運行:車内の空間を長時間楽しんでもらう ・運行時間は朝のオフピーク時間:始発-AM 7:30、AM 9:00-10:00 →朝のピーク時 (7:30-9:00)を避けた前後の「オフピーク時間」に集中して運行 ・複数編成車両のうち先頭車への導入を想定 →中間車両は混雑が見込まれるため

## 働く大人のための

FOREST TRAIN





## DESIGN THEME: FOREST (森林)

ファブリックを用いてまるで"森林浴"をしているかのような空間を車内に表現

個々のプライベートエリアの創出と、

地上の緑に囲まれているかのような感覚を得られるデザインにより、 電車という閉塞感がある空間ながらも、乗客に安らぎを与えることが可能

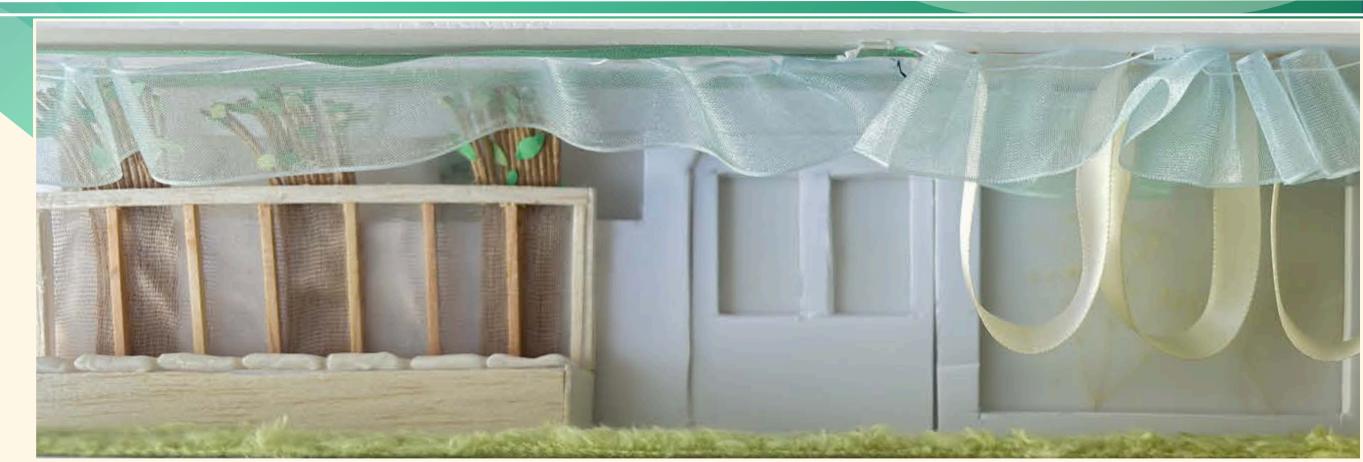
## POINT

<u>癒し空間のポイントは</u>"レース"

シアー素材特有の透明感や動きの軽さが 生かされるような以下用途での使用を提案

- ・水や緑、風などの自然表現
- ・緩やかな空間の区切り







シェルピンク TR-6048 サルビアブルー TR-6047





床にはグリーンのラグを使い 芝生をイメージ

腰を下ろした際、天井は視界に入りやすい場所のひとつであるため レース生地を使用して、揺らめく水の流れと 優しく包み込むような木々の緑を表現

一般的な形式を派生させたシートタイプ 背もたれをネットのように伸縮性のある素材にすることで、

乗客各々にフィットし、包みこまれている感覚がリラックス度 をアップさせる

デザインは木の幹にもたれかかるイメージから着想を得た。 ロールスクリーンを配置し、1人席、2人席、3人席…と簡易的 に空間を区切ることで、親しい人とは空間の共有も可能

1500

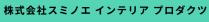
PODシート:8席

電車内空間 床面積:22m ×3m=66㎡ ※要件の70㎡以内を満たす 天井高: 2.2m

本プレゼンシートの寸法はmm単位

進行方向

22000





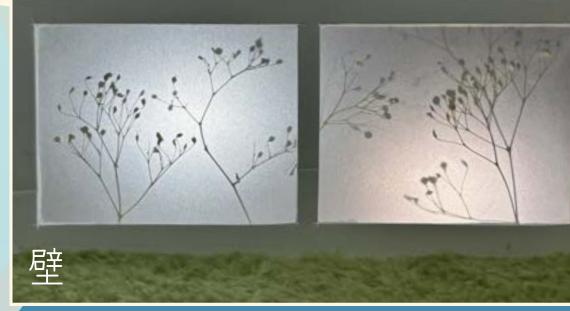




都心の地下鉄としての運行を想定

トンネル内の真っ黒な風景を切り取るのではなく、

ガラス窓の代わりに障子を張ることでその先に空間が続いてるようなデザインにし閉塞感を軽減。 障子に木の影が映るような照明演出をする





床から座面までの高さを低めに設定したハンモック形シート 浮遊感もありながら、目線は低く、足も前に伸び易い体勢となる為 安定感・安心感も。程よい揺れが、睡眠へと誘う...

←木の幹シート:14席→ ←ゆらゆらシート:6席→

睡眠にも、仕事にも集中できる、 おこもり感のあるポッドタイプのシート

ポッドの外枠は木材とし、テーマである森林との親和性を演出

パーテーションとしてポッドのサイドにはシアー素材を使用し、 プライベート感を強めに





